



清里町長 古谷 一夫

新年あけましておめでとうござ  
います。  
町民の皆様には令和6年の輝か  
しい新春を、健やかにお迎えにな  
られましたことを、心からお慶び  
申し上げます。

昨年は、猛威を振るっておりま  
した新型コロナウイルスが一定の落  
ち着きを見せ、感染法上の分類が  
2類相当から5類に変更となり、  
町民の皆様におかれましては、新  
型コロナ禍前の日常生活を徐々に  
取り戻しつつあると受け止めてお  
ります。

また、私たちの行動や移動、交  
流にも大きな制約がありました  
が、清里町においても4年ぶり  
に「ふるさと産業まつり」を開催  
することができると、様々な分  
野で地域活動やイベントが動き出  
し、町全体に活気が戻りつつある  
ことを心から嬉しく思っております。

約4年間にわたる新型コロナウイルス禍  
にあって、医療や福祉、介護、教  
育等の現場において地域を支えて  
いただいた関係者の皆様の献身的  
な働きに對しまして、あらためて  
心よりお礼を申し上げます。

また一方で、昨年の夏は地球温  
暖化の影響が、今まで体験したこ  
とのない連日30度を超える異常と  
も思える猛暑に見舞われ、高齢者  
の皆様はじめ多くの方々が体調管  
理に苦労されるとともに、農作物  
の成長や作柄にも大きな影響が及  
んだところであります。

加えて、ロシアによるウクライ  
ナ侵攻により端を発した国際情勢  
の不安定化と長期化する円安の影  
響により、燃油や肥料、飼料、生  
産資材に加え食料を始めとしたあ  
らゆる生活物資が高騰・値上がり  
し、私たちの日々の生活と経済活  
動を直撃し、現在も大きな影響が  
及んでおります。

こうした状況を踏まえ、町では  
町民皆様の生活や地域の経済活動  
と雇用を支えるため、国や北海道  
の支援に加えて町独自の幅広い対  
策を適時、継続的に講じてまいり  
ました。

また、国においては昨年末に「足  
元の物価高対策と賃上げ促進」に  
向けた補正予算を編成・可決した

ところですが、本町においても昨  
年11月及び12月議会において物価  
高対策と地域経済対策関係の補正  
予算を組み、速やかな対応を図っ  
てまいりました。今後も、現下の  
地域経済や景気動向、雇用環境と  
町民皆様の日々の暮らしの課題を  
的確に見極め、必要な対策に適時  
取り組んでいく所存です。

さて、昨年は本町の基幹産業で  
ある農業にとっては、近年にない  
ほど厳しい状況となりました。肥  
料や飼料、燃油、生産資材の高騰  
に加え、夏場から秋口にかけての  
長期にわたる異常高温により、麦  
類・馬鈴薯・てん菜の三作物はい  
ずれも大きな影響が及んだこと  
です。農業経済は言うまでもなく、  
地域経済全体に大きく波及するも  
のであり、現在、改正が進められ  
ている「食料・農業・農村基本法」  
の動向や今後の農業情勢を見据  
え、今般、農業振興と農村振興の  
観点からJA清里町と「包括連携  
協定」を締結させていただきました。

また、商業においては新型コロナ  
禍の影響から脱しきれない状  
況が続いておりますが、昨年11月  
末に「地域交流拠点施設」が完成  
し、ドラッグストア「ツルハ清里  
店」がオープンいたしました。今

後は、既存商店街と新たな施設の  
エリアを二つの軸として、どのよ  
うに活性化を図っていくかが新た  
なまちづくりの課題となってくる  
と認識するものです。

昨年4月の統一地方選挙に伴う  
町長選挙により重責を担わせてい  
ただくことになりましたが、公約  
として掲げた「町民だれもが安心  
して生活できるまち」「安心して  
子どもを産み、育てることのでき  
るまち」「元氣なまちの産業経済  
と雇用を育むまち」の実現に向け、  
「人づくりと未来への投資」を怠  
ることなく、職員ともども全力を  
傾注する所存です。

迎えた新年においては、現在、  
計画策定中の第9期介護保険事業  
計画や各種福祉計画、地域公共交  
通計画、防災・消防施設整備によ  
る暮らしの安心づくりや、認定こ  
ども園整備、子育てサポート体制  
の強化による子育て支援、加えて  
地域経済の支えと若者雇用対策  
に取り組むなか、恵まれた地域環  
境を生かした持続的なまちづくりに  
果敢にチャレンジしてまいりま  
す。

結びにあたり、令和6年が町民  
皆様にとり最良の一年となります  
ことをご祈念申し上げます、新年のご  
挨拶といたします。



清里町議会議長 前中 康男

あけましておめでとうございま  
す。

町民の皆様におかれましては、  
お健やかに新春をお迎えのこと  
と、心からお慶び申し上げます。  
また、日頃より議会運営や議会活  
動に對しまして、温かいご支援と  
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ  
ます。

議会も昨年4月に町議会議員選  
挙が執行され、新たな9名の議員  
でスタートいたしました。町民の  
皆様の負託に応えられますよう議  
員一同、その職責を果たしていく  
所存であります。

また、私としても新しい年を迎  
え、議会の代表者として、その責  
任の重さを改めて感じるととも  
に、清里町の更なる発展に向けて、  
町の意思決定機関としての機能を  
十分発揮できるよう、努力をして  
いききたいと決意を新たにしてお  
ります。

さて、昨年を振り返りますと、  
新型コロナウイルス感染症の影響  
はあるものの、一定の落ち着きを  
見せ、4年振りに「ふるさと産業  
まつり」が開催されるなど、様々  
な行事やイベントをはじめとする  
社会活動がコロナ禍前に戻りつつ  
ある1年でありました。地域の皆  
様のご尽力により「元氣」と「絆」  
を少しずつ取り戻していただいで  
おります。しかし、ウクライナ情  
勢の長期化や円安傾向等の影響に  
よる燃油価格や電気料、物価の高  
騰が、企業の経営や町民の皆様の  
家計に多大な負担を生じさせてお  
り、依然として先行きが不透明な  
状況でもあります。

しかしながら、アフターコロナ  
に向けて歩みを止めないために  
は、この4年間で得た知見を十分  
に生かしながら、命や町民生活を  
守る取組みと地域経済活動の回復  
に向けた取組みを、しっかりと両  
立させていく必要があると感じて  
おります。

本町の基幹産業の農業につきま  
しては、不安定な国際情勢等によ  
る肥料や飼料、燃油、生産資材の  
価格の高騰に加え、夏以降の猛暑  
等により、主要3作物はいずれも  
近年にない厳しい状況となりまし  
た。

商業においても、「地域交流  
拠点施設」が完成し、ドラッグス  
トア出店の明るい話題やポイント  
カードの利用促進が進んでおりま  
すが、コロナ禍の影響に加え、人  
口減や購買力の低下、商品の購買  
手法の多様化等により、厳しい状  
況が続いております。

本年は、「第6次清里町総合計  
画」及び「第2期清里町まち・ひと・  
しごと創生総合戦略」の4年目の  
年となります。計画の着実な実行、  
町民の福祉の向上と本町の持続的  
発展のため、今後も議会として町  
が行う諸施策を多面的にチェック  
し、改善や提案を含めて議論を尽  
くしてまいります。

また、国際連合で採択されたSDGs  
(持続可能な開発目標)でも示  
されているような課題のほか、福  
祉、医療、産業、地域の維持など  
、私たちの生活は常に様々な課題  
に直面しています。

本町におきましても、人口減少  
と超高齢化が進行していく中、地  
域社会をどのようにして維持、活  
性化していくのか、地域の産業を  
どう守り育てていくのか、どのよ  
うに住みよいまちづくりを進めて  
いくのかが重要な課題となっております。

国の経済や地方財政対策の先行  
きの予測が不確実な中、地方を取  
り巻く環境はより厳しさを増して  
いくと思われれます。このような状  
況だからこそ、私たち議会に求め  
られている役割は、より高まって  
いるのではないかと感じておりま  
す。様々な町政課題の解決に積極  
的に取り組むことはもちろん、町  
民の皆様の声を真摯に受け止め、  
住民福祉向上のため、二元代表制  
の一翼を担う議決機関としての役  
割を全力で果たしてまいります。

また、議会を身近に感じていた  
だけるよう、広報活動や町民懇談  
会等の広聴活動にも注力すると  
もに、議会のデジタル化の推進に  
も取り組んでいきたいと考えてお  
ります。

結びにあたり、本年も変わらぬ  
ご理解とご協力を賜りますようお  
願い申し上げますとともに、令和  
6年が皆様にとりまして、笑顔と  
希望あふれる実り多い一年とな  
りますよう、心からご祈念申し上げ  
まして、新年のご挨拶といたしま  
す。